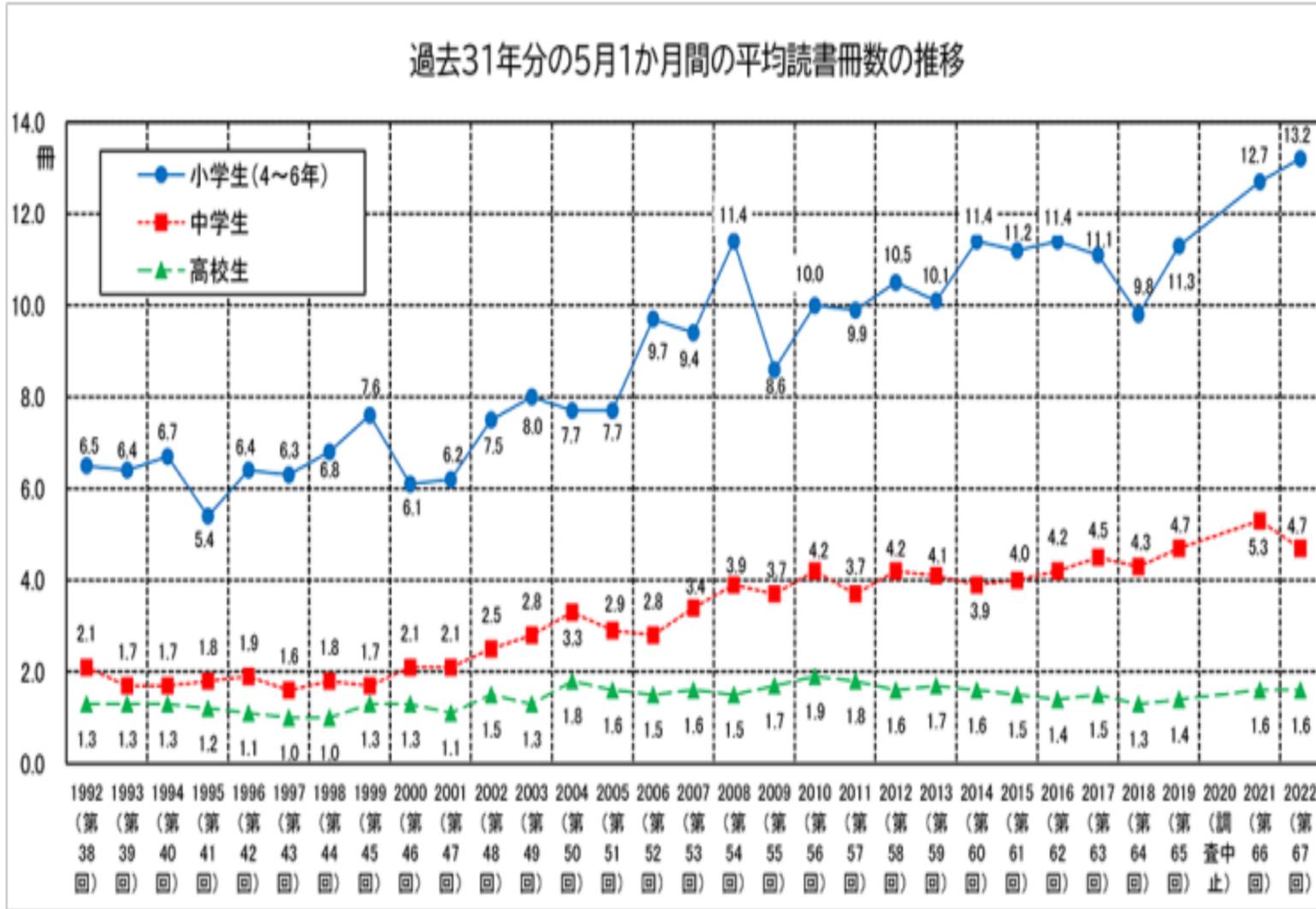
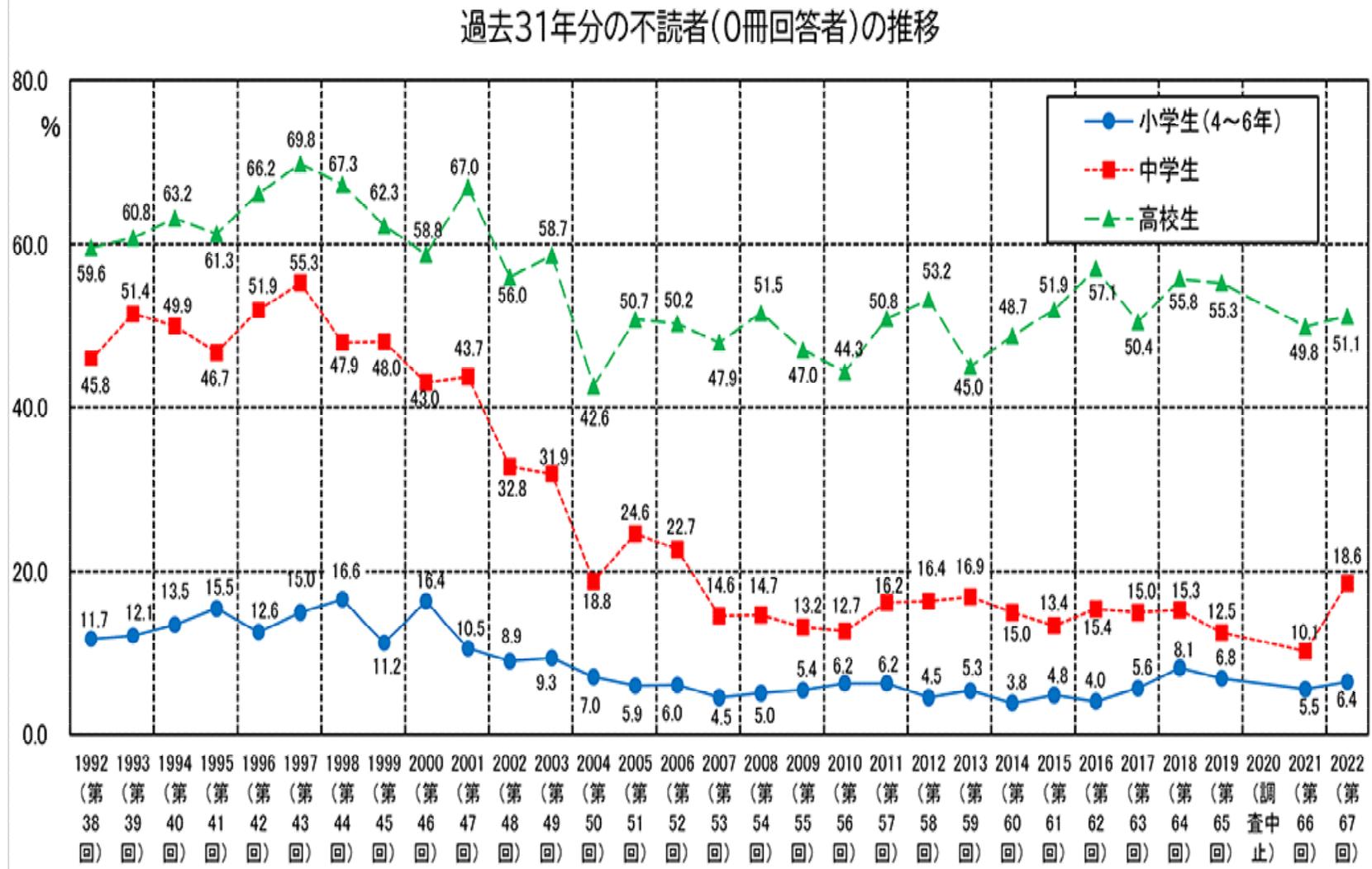


次の資料①～④の資料から読み取れることを踏まえて、問いに答えなさい。

資料① 「第67回学校読書調査」 『5月1か月間に読んだ本の冊数』



出典：全国学校図書館協議会ウェブサイト  
(<https://www.j-sla.or.jp/>)



出典：全国学校図書館協議会ウェブサイト  
 (<https://www.j-sla.or.jp/>)

資料③ 子どもの読書活動の推進に関する法律（抜粋）  
平成十三年法律第百五十四号

（基本理念）

第二条 子ども（おおむね十八歳以下の者をいう。以下同じ。）の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

（子ども読書の日）

第十条 国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。

二 子ども読書の日は、四月二十三日とする。

三 国及び地方公共団体は、子ども読書の日 of 趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

資料④ 読書に関する記念日・読書週間

【子どもの読書活動の推進に関する法律】

◇子ども読書の日

・四月二十三日

【公益社団法人読書推進運動協議会主催】



【公益社団法人全国学校図書館協議会制定】

◇学校図書館の日

・六月十一日



問一 資料①～④から読み取れることを答えなさい。

資料①から読み取れること

--

資料②から読み取れること

--

資料③から読み取れること

--

資料④から読み取れること

--



## 問一 《解答例》

資料①から読み取れること

- ・小学生では、二〇〇一年までは横ばいの傾向であったが、その後増加傾向にあり、2022年は、過去最高の十三・二冊まで増加している。
- ・中学生は、二〇〇一年までは横ばいの傾向であったが、その後はゆるやかに増加傾向にあり、二〇二一年には過去最高の五・三冊まで増加した。
- ・小学生が中学生になると、読む本の冊数は減っているが、中学生自体の読書冊数は徐々に伸びてきたと言える。
- ・高校生はこの調査では、最低が一九九七・一九九八年の一・〇冊、最高では二〇一〇年の一・九冊であり、ほとんど横ばいである。

資料②から読み取れること

- ・小学生では、不読者の割合は当初から低く、横ばいの傾向が続いている。
- ・小学生が不読者の割合が一番少ない。
- ・中学生では、不読者の割合が一九九七年が最高の五五・三%であったが、それ以降は減少傾向となった。二〇〇七年まで一気に減少し、それ以降は横ばいである。
- ・高校生では、一九九七年に不読者の割合が最も高く、六九・八%となった。以降は、緩やかに増減を繰り返しているが、減少傾向にある。
- ・高校生は、不読者の割合が一番多い。

資料③から読み取れること

- ・子どもの読書活動の推進に関する法律の中から、基本理念と子ども読書の日について示されている。
- ・子ども読書の日は四月二十三日である。
- ・国や地方公共団体は子ども読書の日にふさわしい事業を実施することに努めなければならないとされている。

資料④から読み取れること

- ・子どもの読書活動の推進に関する法律では、子ども読書の日は四月二十三日である。
- ・読書推進運動協議会では子ども読書週間を四月二十三日から五月十二日まで主催している。
- ・学校図書館協議会では、学校図書館の日を六月十一日に制定している。

《評価のポイント》グラフや文章から読み取れることをまとめている。

## 問二 ≪解答例≫

「読書は心の栄養」という言葉があるように、読書は自分の成長にとって大切なことだと思えます。

資料③にも、『言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないもの』とあります。

中学生、高校生と年齢が上がるにつれて、本を読まなくなってしまうことが資料①・②から見えてきます。部活動や受験勉強に追われている私たちの生活を考えると当然かもしれません。

一方、資料④からもわかるように、国が「子どもの読書活動の推進に関する法律」を定めたり、読書推進運動協議会で読書週間を設けたりして読書活動の推進を図り、読書する環境を整えています。

読書する時間がないと思われる人もいるでしょうが、時間を見つけて読書を楽しみましょう。本を読んで豊かな時間を過ごし、読んだ本の内容について誰かと語り合ってみましょう。これもまたすごく楽しいですよ。

### ≪評価のポイント≫

適切な段落構成で、いくつかの資料の中から、内容やグラフの数値等の根拠を示して自分の考えを表現していること。発表原稿ということを意識した表現の仕方をしている。

### ≪解説≫

「説得力のある文章」にするためには、客観性や信頼性の高い資料を選んで用いることが重要です。自分の考えの根拠としてふさわしいかどうかについて検討したり、引用部分を明らかにした上で、資料が伝えたいことと自分の考えとの関係について補足したりすることが必要となります。

文章の構成としては、

- ① 明確な問題提起
- ② 説得力のある根拠の提示
- ③ 反論の可能性（立場を換えてみる）
- ④ 反論への反論
- ⑤ 自分の主張・提案・まとめ

などが書かれていると、「説得力のある文章」につながります。